九州共立大学
KYUSHU KYORITSU UNIVERSITY

令和８年度
九州共立大学後援会総会

「教員採用試験対策について」

期日　　令和８年６月６日（土）
会場　　自由ヶ丘会館４階（多目的ホール）

担当者　：　スポーツ学部・スポーツ学科
講師　　田代　智紀

九州共立大学
KYUSHU KYORITSU UNIVERSITY

「本学の教員採用試験対策について」

本日は
この部分を
中心にお話
します。

第１は、
　何よりも、「教員になりたい」という気持ちを強く持ち
「主体的な学び」を実践している意識の高い学生の存在

第２に、
　それらの意識の高い学生をはじめ、その他の学生にも
更なる意識の高揚と教員としての資質・能力を引き出し
育成するために「対話的な学び」を重視する先生方の存在

これらのコラボレーションによる「深い学び」の実現が、
本学の教員採用試験対策の根幹であり、誇りである！

本日の流れ

１．本学が目指す教員養成について

２．教員採用試験対策について

３．大学推薦・３年生チャレンジ制度について

４．在学期間中にやるべきこと

本日の流れ

１．本学が目指す教員養成について

２．教員採用試験対策について

３．大学推薦・３年生チャレンジ制度について

４．在学期間中にやるべきこと

九州共立大学
KYUSHU KYORITSU UNIVERSITY

「即戦力になる教員」

「教員になりたい！」:よくある代表的な理由について･･･

自分の好きなスポーツを
監督やコーチとして
子どもたちに教えたい！

自分が果たせなかった夢
（日本一やオリンピック出場等）を
教え子たちに託したい！

保健体育科の教員を目指す理由

素晴らしい恩師と出会い
その恩師のような教員に
なりたい！

体育やスポーツが苦手な
子どもたちにも体育やスポーツ
楽しさや素晴らしさを伝えた
い！

「教諭」に求められる業務

1. 教育課程内の教育活動

・各教科・科目等の指導、総合的な探求（学習）の時間、ホームルーム活動
生徒会活動、学校行事（入学式・卒業式、体育祭・文化祭、修学旅行）等

2. 教育課程外の教育活動

・部活動、教育相談、放課後等の個別指導や補充指導　等

3. 各種、校務分掌

・クラス担任、教務課、企画広報課、生徒指導課
保健課、進路指導課、キャリア教育課　等

保健体育科（中学校・高等学校）の教員免許取得のために必要となる主な科目とは？

「総合共通科目」（30単位以上）

総合共通コア科目

教養教育科目

言語・異文化理解科目

情報教育科目

キャリア教育科目

※　朱書部分がスポーツ教育コースで履修する科目
（保健体育科の教員になるために必要な科目）

＋

「専門教育科目」（76単位以上）

共通科目

専門演習科目

スポーツ実技科目

「スポーツ教育概論」
「学校体育のﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ」
「学校体育指導演習」
「各種目の指導法」
「学校保健Ⅰ・Ⅱ」
「学校保健指導演習」
「ｼﾞｭﾆｱｽﾎﾟｰﾂ論」

＋

「教職課程関連科目」（18単位以上）

「教職論」、「教育原理」、「教育心理学」
「特別支援教育概論」、「教育制度論」
「教職総合講義」、「教育課程論」
「道徳教育指導法」、「教育方法論」
「特別活動指導法」、「生徒・進路指導論」
「教育相談」、「学校体験活動」

「保健体育科教育法Ⅰ」
「保健体育科教育法Ⅱ」
「保健体育科教育法Ⅲ」
「保健体育科教育法Ⅳ」
「教育実習Ⅰ」
「教育実習Ⅱ」
「事前事後指導」
「教職実践演習（中・高）」

中学校希望者
＋介護等体験
（７日間）

※　青書部分が教職課程で履修する科目
（教員になるために必要な科目）

「教員になるため」に越えなければならないハードルは？

保健体育科や社会科等の教員になるために必要な科目を履修・修得する（2～4年次）

↓

中学校希望：介護等体験（7日間）　介護施設や特別支援学校等（原則、3年次）

↓

中学校希望：教育実習Ⅰ・Ⅱ　・・・　最低　3週間（正味15日間）以上（3or4年次）
高等学校希望：教育実習Ⅰ　・・・　最低　2週間（正味10日間）以上（3or4年次）

↓

教員採用試験の受験（4年次：公立・私立とも、1次試験：7月中旬、2次試験：7～8月、発表：9月中旬）

↓

教員免許状の取得（免許取得に必要な全ての履修科目を修得できた者）　交付は3月、卒業後

↓

公立学校　・・・　公立学校（各自治体）教員採用試験に合格　→　教諭　　（卒業後の4月から）
私立学校　・・・　各学校の教員採用試験に合格　→　教諭
※　採用試験不合格　・・・　多くの場合、公立や私立の講師（常勤・非常勤）等に！

本日の流れ

１．本学が目指す教員養成について

２．教員採用試験対策について

３．大学推薦・３年生チャレンジ制度について

４．在学期間中にやるべきこと

教員採用試験とは・・・

- **筆記試験**

  一般教養、教職教養、専門教養、小論文

- **面接試験**

  個人面談、集団面接、討論、模擬授業

- **実技試験**

  水泳、跳び箱、マットなど

- **適性検査**

福岡県の教員採用試験

試験区分及び選考区分 ＼ 試験項目	第一次試験（マーク方式）			第二次試験			
	専門教科 ※1 【60分】	教職教養 ※5 【50分】	特別支援専門（特別支援学校受験者（併願含む）のみ） 【60分】	模擬授業 評価区分（A～D）	個人面接 評価区分（A～E）	英語面接（英語受験者のみ） 評価区分（A～E）	実技試験（※6～8に記載の者のみ） 評価区分（A～D）
小学校教員（一般及び英語有資格者）	●			●	●	―	―
配点	150点 ※2						
中学校教員	●	●		●	●	●	● ※6
配点	150点	50点					
高等学校教員	●	●		●	●	●	● ※7
配点	150点	50点					
特別支援学校教員	●	●	●	●	●	―	―
配点	150点 ※3	50点	100点				
養護教員	●	●		―	●	―	● ※8
配点	150点 ※4	50点					
栄養教員	●	●		●	●	―	―
配点	150点	50点					

教員採用試験とは・・・

- **筆記試験**

  一般教養、教職教養、専門教養、小論文

- **面接試験**

  個人面談、集団面接、討論、模擬授業

- **実技試験**

  水泳、跳び箱、マットなど

- **適性検査**

- **オフィスアワー**

  大学生活や学業に関する相談を受ける時間

- **やる気支援**

  資格取得や就職内定を目指し、基礎力を身に付けたいなど、
  学生のやる気や知識を向上させるための支援

- **教員養成セミナー**

  採用試験の勉強の仕方や学校現場の課題について理解を深め、
  試験までの準備と、保健体育授業の授業力の向上を目指す

しかし

公務員・教員試験対策は一筋縄ではいかない!!

筆記・面接試験が高難度!!

ボリュームのある筆記試験に、鋭い質問が飛び交う面接。人気の職業であることに加え、人気の自治体には応募が殺到し倍率も高くなります。

課外活動や講義との両立が難しい!!

卒業に必要な単位をとりながら、学外の専門学校などに通う「ダブルスクール」はとてもハード。貴重な体験ができる課外活動の時間も減ってしまいます。

スケジュール管理が大変!!

試験は高難度なので、本気で合格を狙うなら長期的な勉強が必要。しかし、独学だといつしか目標を見失い計画が狂いがちで、モチベーションも保ちづらいです。

専門学校などに通うと多額の費用が!!

大手専門学校・予備校でダブルスクールをやろうとすると、50万円を超えるコースも多くあります。逆に安価で済ませようとするとサービスが物足りないことも。

公務員・教員を目指す人のための

オリジナルプログラム

K-CIP

「K-CIP」とは専門学校・予備校とタイアップして行う
九共大オリジナルの公務員・教員採用試験対策プログラム。
通常の採用試験対策に加えて行う、さらなる実力をつけるための特別講座です。

試験対策の不安をなくす!!

K-CIPの特徴

公務員・教員を目指す学生に立ちはだかる様々なお悩みも、
九共大独自の試験対策プログラム「K-CIP」なら問題なし。
その理由となる6つの特徴を紹介します。

専門学校・予備校とタイアップした

対策講座

公務員専門学校・予備校で実際に講義を行うプロの講師が講座の一部を担当。経済的・時間的な負担を抑えながら、まるでダブルスクールをするように、より専門的な学修と試験対策に取り組めます。

4年間をかけて

じっくり勉強できる!!

高難度な試験問題に対して、専門学校などの多くが1〜2年間で一気に勉強するところ、K-CIPは4年間をかけて長期的に勉強。講座についていけなくなる不安を減らします。

- 1年次 | 教養科目基礎講座
- 2年次 | 実力養成講座
- 3年次 | 合格力養成講座
- 4年次 | 直前対策講座

個別の

サポートが充実!!

個人面談で学びの進度を確認、状況に応じてアドバイスも行います。また、一部の講座は配信され、何度でも自習が可能。独学では難しいスケジュール管理・モチベーションの維持ができます。一部の科目ではオンデマンド型講義を取り入れており、時間を有効に活用し試験対策を行うことができます。

- 安心の個人面談
- ＋
- 整備された自習環境

さらに

二次試験対策も万全!

一次試験の合格者が進む二次試験は人物重視の内容。K-CIPでは、面接対策や集団討論対策もしっかり行います。エントリーシート（履歴書）の添削や面接練習を重ねる中で、自分の強みが明確になっていきます。

GO TO WEBSITE
HPでもご覧いただけます。

卒業単位として

18単位をカウントOK!!

専門学校などでの勉強に追われて大学の講義を受けられず、卒業単位の修得が辛くなるダブルスクールに対し、K-CIPの講座として18単位まで卒業単位にカウントOK。日々の講義との両立も比較的簡単になります。
（こどもスポーツ教育学科を除く。）

専門学校などと比べて

お手頃!!

外部の専門学校などでは50万円を超えることもある費用も、
その半額以下で受講が可能。
4年間合計の費用なので、コストパフォーマンスは抜群です。

希望職種		受講できる学科				K-CIPコース	費用				
		経済・経営学科	地域創造学科	スポーツ学科	こどもスポーツ教育学科		1年次	2年次	3年次	4年次	合計
公安職		○	○	○	○	A	20,000円	60,000円	60,000円	20,000円	160,000円
行政職	専門試験なし	○	○	○	○						
	専門試験あり	○	○	○	○	B	20,000円	80,000円	80,000円	20,000円	200,000円
教員	中学（社会）	○	ー	ー	ー	C	20,000円	30,000円	30,000円	20,000円	100,000円
	高等学校（地理歴史）	○	ー	ー	ー						
	高等学校（公民）	○	ー	ー	ー						
	中学・高等学校（保健体育）	ー	ー	○	○						

※Cコース（教職）を希望する学生は、所属する学科の教職課程を履修する必要があります。
※登録料:20,000円（1年次のみ、特待生の有無にかかわらず徴収）。2年次以上に配当されているオプション科目については1単位につき、10,000円の履修料を徴収します。
※金額は科目の設定により変更する場合があります。

さらに

「K-CIP特待」で入学すれば

授業料最大全額免除 + K-CIP履修料全額免除も

K-CIP特待生（こどもスポーツ教育学科を除く。）

A特待	授業料 全額免除	B特待	授業料 半額免除

『K-CIP特待』で入学した場合の4年間合計免除額

学力特待生区分	経済学部	スポーツ学部
A学力特待生	-2,248,000円	-2,880,000円
B学力特待生	-1,124,000円	-1,440,000円

（一般入試で入学した場合と比較）（こどもスポーツ教育学科を除く。）

注目!! K-CIP履修料も全額免除

対象となる採用試験

❶中学校または高等学校教諭を目指す者
（経済学部 経済・経営学科、スポーツ学科）
❷公務員を目指す者
（経済学部 地域創造学科、スポーツ学科）

では、本学の過去５年間の教員採用試験の合格状況の推移は？

１次試験合格者（把握分）		採用年度	２次試験合格者（把握分）	
現役	卒業生		現役	卒業生
２５（10）	４７（５）	令和８年度	１２（６）	４１（５）
２０（８）	６２（14）	令和７年度	１３（８）	５６（14）
２１（８）	３９（７）	令和６年度	１１（５）	３４（７）
２４（７）	２７（１）	令和５年度	１１（６）	１６（１）
１４（２）	２２（４）	令和４年度	３（２）	１７（４）

注）　・１次合格者には、各種の１次試験免除者を含む。（　　）内は内数で、小学校合格者

教諭及び講師の現状　（令和8年3月の本学卒業生の勤務状況）は？

2026.6.6現在　把握できている分のみ

赤数字：スポーツ学部、青数字：経済学部

校　種	教諭	常勤講師	非常勤講師	備　考
中学校	4　1	12　1	－　－	
高等学校	－　1	7　－	－　－	
特別支援学校	－　－	4　－	－　－	
小学校	5　1	4　1	－　－	
合　計	9　3	27　2	－　－	学校現場へ41名

※　学校の他にも、自治体のスポーツ協会、公立の体育施設・青少年自然の家・社会教育センター　などもあります。

本日の流れ

１．本学が目指す教員養成について

２．教員採用試験対策について

３．大学推薦・３年生チャレンジ制度について

４．在学期間中にやるべきこと

少しずつ増えてきた･･･教員採用試験に係る
大学推薦や３年生チャレンジ等について

大学推薦制度

各自治体が示す推薦要件（基準）を満たし、かつ大学（学長等）が推薦した学生を対象者として審査し、認められた者については、１次試験（筆記等）を免除する！

３年生チャレンジ制度

各自治体が示す推薦要件（基準）を満たし、かつ大学（学長等）が推薦した学生を対象者として審査し、認められた者については、３年次に一次試験を受験できる！
または、特に大学の推薦等なしに、希望者は３年次に受験できる自治体もある！

※熊本県は最終合格まで出る

試験区分及び選考区分 ＼ 試験項目	第一次試験（マーク方式）			第二次試験			
	専門教科 ※1 【60分】	教職教養 ※5 【50分】	特別支援専門（特別支援学校受験者（併願含む）のみ） 【60分】	模擬授業 評価区分（A～D）	個人面接 評価区分（A～E）	英語面接（英語受験者のみ） 評価区分（A～E）	実技試験（※6～8に記載の者のみ） 評価区分（A～D）
小学校教員（一般及び英語有資格者）	●			●	●	—	—
配点	150点 ※2						
中学校教員	免除			●	●	●	● ※6
配点							
高等学校教員	●	●		●	●	●	● ※7
配点	150点	50点					
特別支援学校教員	●	●	●	●	●	—	—
配点	150点 ※3	50点	100点				
養護教員	●	●		—	●	—	● ※8
配点	150点 ※4	50点					
栄養教員	●	●		●	●	—	—
配点	150点	50点					

大学推薦制度、３年生チャレンジ制度の自治体別まとめ

	福岡県	福岡市	北九州市	熊本県	熊本市
大学推薦	○	○	○	○	○
３年生チャレンジ	○	×	△	△	○

	長崎県	佐賀県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
大学推薦	○	○	○	○	○	○
３年生チャレンジ	△	△	△	○	△	×

熊本市は大学推薦はあるものの「保健体育」「社会」はない

３年生チャレンジは名称が違う場合がある　※各自治体の要項をチェック

教員採用試験の大学推薦制度に際して九州共立大学が推薦に値すると考える学生の姿

①一定の学力や人間力、教員として必要な基本的な資質・能力を持ち、教員になるための不断の努力をしている学生。

②一定の学力や人間力、教員として必要な基本的な資質・能力を持ち、部活動や委員会活動、ボランティア活動等に励み、学業と諸活動等を両立しながら、教員になるための不断の努力をしている学生。

③一定の学力や人間力、教員として必要な基本的な資質・能力を持ち、部活動等において、特に秀でた競技成績や実績、リーダーシップ等を有し、教員になるための不断の努力をしている学生。

※「人間力」の定義と構成要素　　【内閣府　2003 年　人間力戦略研究会報告書より】

「人間力」とは、「社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」のことである。

「人間力」は、「知的能力的要素」、「社会・対人関係力的要素」、「自己制御的要素」の３つで構成されている。

①「知的能力的要素」

「基礎学力（主に学校教育を通じて修得される基礎的な知的能力）」、「専門的な知識・ノウハウ」を持ち、自らそれを継続的に高めていく力。また、それらの上に応用力として構築される「論理的思考力」、「創造力」など

②「社会・対人関係力的要素」

「コミュニケーションスキル」、「リーダーシップ」、「公共心」、「規範意識」や「他者を尊重し切磋琢磨しながらお互いを高め合う力」など

③「自己制御的要素」

これらの要素を十分に発揮するための「意欲」、「忍耐力」や「自分らしい生き方や成功を追求する力」など

※　本学としては、上記に示されている「人間力」を構成する３つの要素の中でも、教員に最も必要な要素は、「社会・対人関係力的要素」と考える。

1　教員としての資質・能力等を総合的に評価するための項目

(1) 知識について

① 一般教養の修得（GPA 値を指標にて評価）　※　概ね、3.0 以上であることが望ましい。

② 希望する受験自治体の推薦要項や要件等への精通（面談にて評価）

③ 教職教養の修得（教員採用試験模擬テストの成績を指標にて評価）

④ 専門教養の修得（教員採用試験模擬テストの成績を指標にて評価）

３年生の後期から、原則、毎月１回実施されている学内での模擬テスト（小学校を含む）の受験を課す。

(2) 技能（指導力）、及び思考力・判断力・表現力等について

⑤ 模擬授業・場面指導の技能（実技・実演にて評価）

⑥ 集団討論の対応力（実技・実演にて評価）

⑦ 自己ＰＲシートやプロフィールシート等の作成力（提出物にて評価）

現時点では自身の希望する自治体に推薦制度がないとしても、将来的に、推薦制度での受験希望を考えている学生は全員、３年生の夏以降に始まる②～⑪、教員養成セミナーへの取組を必ず受験・受講することが必要です！

(3) 学びに向かう力・人間性等について

⑧　面接（個人や集団）の対応力（実技・実演にて評価）

⑨　教職課程の授業や各種講座や研修等への参加状況や態度等に示される主体性、及び提出物等に取り組む姿勢（日頃からの状況観察にて評価）

⑩　各種の授業等でのグループ活動における協調性や協働性、リーダーシップやフォロワーシップ（日頃からの状況観察にて評価）

⑪　教員になろうとする強固な意志（面談及び日頃からの状況観察にて評価）

(4) 特記事項やその他の所見等について

UNIPA 記載の学生プロファイル等の情報を確認のうえ、被推薦者として問題がないか確認

２　在籍中に問題行動等がなかった者

３　スポーツ学部の学生については、夏期および冬期の「教員養成セミナー」の参加を原則として義務づける。

総合評価（推薦の可否）について

上記の各 11 項目に関して、①は直近時の通算 GPA 値にて、②～⑪は当該指導担当者が、A・B・C・Dにて評価する。特記事項や所見等を含め、それらの評価結果に基づき、教職担当者およびスポーツ教育コース担当者との連携の下にて総合的に評価し、選考原案（推薦の可否）を作成する。ただし、②～⑪の項目については、いずれか１つでも「不可」がある場合は、推薦しないこととする。

本日の流れ

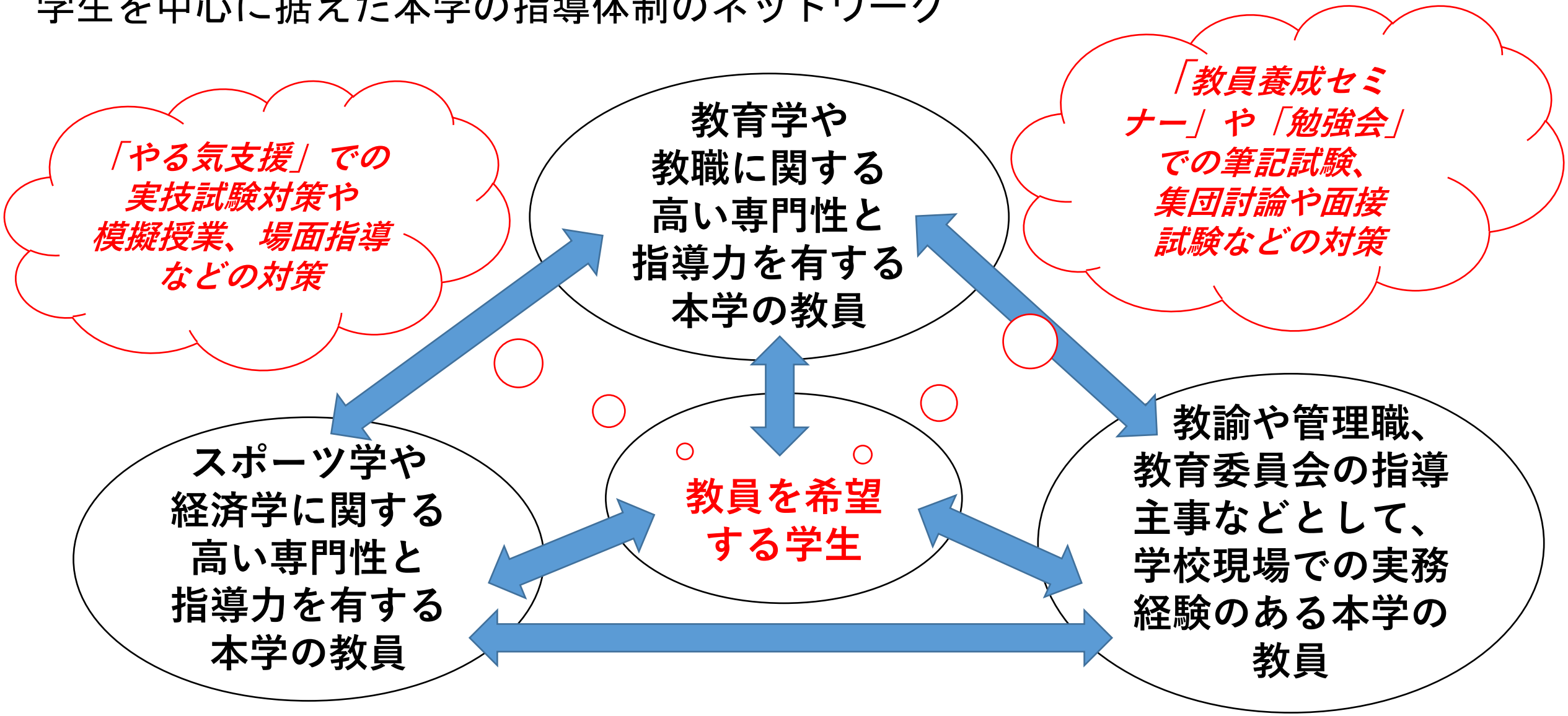
１．本学が目指す教員養成について

２．教員採用試験対策について

３．大学推薦・３年生チャレンジ制度について

４．在学期間中にやるべきこと

学生を中心に据えた本学の指導体制のネットワーク



一般教養・基礎学力、語学力等に関する専門性と指導力を有する大学の先生

教員（教員採用試験突破）を目指して、大学時代に実施すべきことは？

さらには、*ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）は？*
近年、教員だけでなく、全ての分野の就職時の面接で問われています。

○大学の授業での学習・・・・ 基礎学力（一般・教職・専門教養等）の向上

○教員採用試験への取組・・ 早めに自主的・主体的に（個人で、仲間で）

○部活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 高い専門性の獲得

○サークル活動・・・・・・・・・・ 専門性の獲得

○ボランティア活動

○アルバイト
スポーツ教室、塾（家庭）講師
飲食・コンビニ、その他

○その他　海外留学（異文化理解）

社会性、協調性
人間関係構築力
コミュニケーション能力
豊かな人間性
等々

必ずしも
選手としてだけでなく

・学生コーチとして
・マネージャーとして
・トレーナー等として

様々な経験が、教職
には活かせるはず！

九州共立大学
KYUSHU KYORITSU UNIVERSITY

ご清聴ありがとうございました。

今後とも本学の教育活動へご理解とご協力を
賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。